

広島県 平成31年度施策・事業特集

創造的復興予算

平成30年7月豪雨災害から約9か月が経過し、主要なインフラは順次回復して、県民生活や経済活動は徐々に通常に戻りつつありますが、復旧・復興はまだ道半ばであり、被災された県民や企業の皆様は、今なお多くの不安を抱えていらっしゃいます。

そうしたなか広島県では、平成31年度予算を「創造的復興予算」として編成しました。

「創造的復興」という言葉には、県民生活や経済活動の一日も早い再建に取り組むことはもちろんのこと、単なる現状復旧に留まらず、この災害を起点として、被災前の状態よりも更に良い状態に、広島県全体を押し上げていこうという思いを込めています。

また、復旧・復興に向けた中長期的な視点に立った施策は、ひろしま未来チャレンジビジョンで掲げる「欲張りなライフスタイルの実現」に向けた取組と目指す方向・目的が同じであり、豪雨災害への対応に注力することは、チャレンジビジョンの基盤づくりにもつながるものと考えています。

「創造的復興による新たな広島県づくり」に最優先で取り組みつつ、これまで進めてまいりました「欲張りなライフスタイルの実現」に向けた施策につきましても、歩みを止めることなく、着実に取り組んでまいります。

広島県知事 湯崎英彦

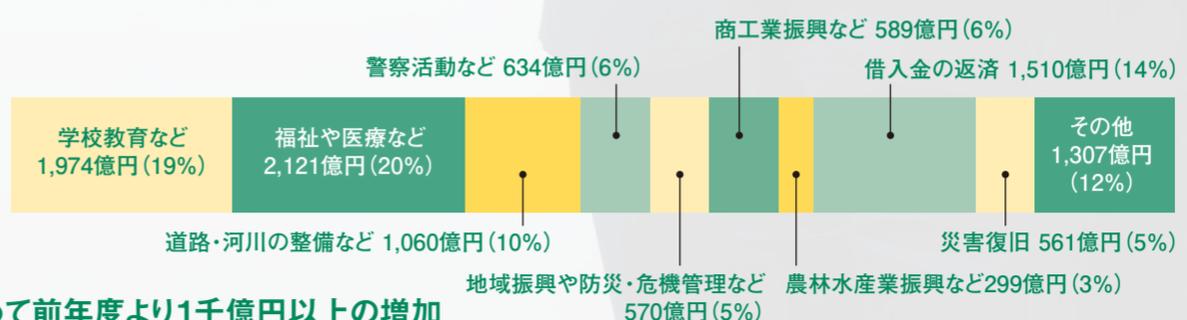


平成31年度予算

1兆625億円

※平成31年度当初予算1兆551億円と平成30年度2月補正予算(国補正関連分)74億円の合計
※予算額は全て一般会計ベース

当初予算額としては、県政史上初めて前年度より1千億円以上の増加



創造的復興による新たな広島県づくり

戦後最大級の被害をもたらした平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興と、更なる発展に向けた新たな広島県づくりに向けて、県では平成30年9月に「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」を策定し、「安心を共に支え合う暮らしの創生」「未来に挑戦する産業基盤の創生」「将来に向けた強靱なインフラの創生」「新たな防災対策を支える人の創生」の4つの柱を軸に、施策を進めています。平成31年度も、引き続き、県民の皆さんや関係者の方々と力を合わせて、創造的復興による新たな広島県づくりに全力で取り組んでいきます。

安心を共に支え合う暮らしの創生

POINT!
被災者の生活支援

POINT!
地域コミュニティの再生

- 被災された方々が、一日でも早く日常生活を取り戻せるよう、地域・行政・専門機関等が一体となって、一人ひとりに寄り添った包括的な支援を行います。
- 今回の災害で重要性が再認識された地域コミュニティの再生を推進します。
- 災害廃棄物の迅速かつ適正な処理に向けて被災市町を支援します。



地域共生社会推進事業

事業費 2億400万円

地域支え合いセンターにおいて、見守りや日常生活上の相談支援、住民同士の交流機会の提供を行います。また、地域共生社会の実現に向けて、地域福祉支援計画の策定や、小規模社会福祉法人の地域貢献の促進に向けたネットワーク化等を進めます。
※「地域共生社会」とは…誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし、共に支え合えることのできる社会のこと



市町地域支え合いセンター(戸別訪問)

被災者支援 こころのケアチーム運営事業

事業費 3,200万円

「広島こころのケアチーム」を運営し、被災者の孤立死や自殺の防止、生活再建に向けた市町及び市町地域支え合いセンターの活動を支援します。



こころのケアチーム(ミニ健康講座)

災害廃棄物処理事業

事業費 12億7,400万円

災害廃棄物について、処理が困難な被災市町の事務を受託します。また、災害廃棄物処理のために過大な財政負担が生じた市町に対して補助を行います。



災害廃棄物二次仮置場

将来に向けた強靱なインフラの創生

POINT!
公共土木施設等の強靱化

POINT!
防災・減災対策

- 被災した公共土木施設等について、災害復旧事業や改良復旧事業などに最優先で取り組みます。
- 被災地域に限らず、「社会資本未来プラン」等に基づき計画的に実施している防災・減災対策についても加速化を図り、県土の強靱化を進めます。



7月豪雨災害対応 公共事業

事業費 551億4,700万円 (2月補正を含む)

被災地域等における災害復旧事業については、優先順位を踏まえながら順次工事に着手し、3か年での復旧完了を目指します。また、改良復旧事業についても、5年以内での事業完了を目指します。

- 被災した公共土木施設における災害復旧事業の実施
- 呉環状線や三篠川、沼田川などにおける改良復旧事業等の実施
- 土砂災害により被災した箇所における砂防ダムや治山ダム等の整備
- ため池の総合対策(廃止工事)の実施



災害関連緊急砂防事業



災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

※写真は平成26年8月20日豪雨災害での整備事例

防災・減災対策 公共事業

事業費 309億9,400万円 (2月補正を含む)

土石流・がけ崩れ・地すべり・洪水・高潮などの災害から県民の生命・財産を保全するため、災害復旧を優先しつつ、砂防・治山施設や、護岸・防潮堤などの防災施設を順次整備するとともに、各種ソフト対策を強化します。

- 砂防ダム等の整備
- 護岸等の施設整備
- 防潮堤等の海岸保全施設の整備等
- 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定
- 治山ダム等の整備
- ため池の総合対策(補強工事等)の実施



防潮水門・排水機場整備による高潮対策

未来に挑戦する産業基盤の創生

POINT!
被災企業の事業再建

POINT!
観光産業の復興・拡大

- 被災企業の事業活動の再建に向けた支援や、観光需要の回復などに集中的に取り組めます。
- 今後起こりうる非常時に備え、企業活動を継続できる体制を整備します。
- 農林水産業における生産活動の早期再開に向け、被災した農地・農業用施設等の復旧に取り組めます。



緊急時レジリエンス環境整備事業

事業費 1,400万円

災害等の非常事態の中で通常業務の早期回復が図れるよう、中小企業等のBCP(事業継続計画)の策定を支援します。



BCPの策定(イメージ)

観光地ひろしま推進事業 (うち観光需要の早期回復)

事業費 4,300万円

災害により落ち込んだ観光需要を取り戻し、観光産業を再び拡大・成長路線に戻すため、「観光地ひろしま」のイメージ回復と更なる需要喚起に向けたプロモーションを展開します。



観光キャンペーン「顔出しんさい! 広島県」

農林水産業の復興・経営基盤の強化 公共事業

事業費 93億5,300万円

被害を受けた農地・農業用施設及び林道の復旧事業や漁場に流入した流木等の堆積物除去事業を実施します。



復旧後の農地(イメージ)

新たな防災対策を支える人の創生

POINT!
災害から命を守るための適切な判断と避難

- 災害時に、県民一人ひとりが適切に判断し、避難行動をとれるよう、防災や行動科学の有識者を交えた研究を行い、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組を強化していきます。
- 各地域で防災活動をリードする自主防災組織や、中心となる人材の育成を図ります。
- 児童生徒一人ひとりが災害から命を守る判断・行動を適切にとることができるよう、学校における防災教育の充実に取り組めます。



「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業 事業費 9,700万円

県民及び自主防災組織等が、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となった県民総ぐるみ運動を推進します。

県民の避難行動等の促進

- テレビやラジオ、「みんなで減災」推進大使等による広報、周知活動
- 家具等転倒防止策の周知や、非常持出品の準備や備蓄等の促進
- 県民の避難行動等に関する調査の実施及び分析
- 平成30年度県民意識調査の対象者への避難行動の追跡調査
- 県民の避難行動等に関する調査結果を踏まえた災害の教訓の伝承



広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動



県民の避難行動等に関する面接調査の協議

自主防災組織の活性化

- 防災リーダーを養成する市町の支援
- 自主防災組織による避難の呼びかけの体制づくり支援
- 自主防災アドバイザーの派遣及び継続的な指導助言
- 自主防災アドバイザーのスキルアップ研修や防災リーダー研修の実施

市町防災体制の強化支援

- 市町における初動・応急対応等の課題解消に向けた、短期集中支援
- 災害対策本部運営に係る図上訓練の実施支援(5市町)
- 市町長や市町職員を対象とした防災セミナーの実施



広島県防災キャラクター「タスケ三兄弟」

欲張りなライフスタイルの実現

広島県では、県民の皆さんが仕事や暮らしへの希望をあきらめることなく追求できる「欲張りなライフスタイル」の実現を目指して、「希望をかなえるための後押し」「ゆとりの創出」「地域活力の基盤づくり」「暮らしを楽しむ機会の創出」などの柱に基づいて総合的に施策を推進しています。平成31年度も、引き続き、県民の皆さん一人ひとりが主役の「欲張りライフ」を応援していきます。ここでは重点的に取り組む事業の一部をご紹介します。

希望をかなえるための後押し

すべての子供が夢を育むことのできる社会づくり

子供たちの個性に応じて、一人ひとりが持っている能力を最大限に伸ばしていけるよう、子育てを地域全体で支える仕組みをつくり、安心して子育てができる環境を整備します。



ひろしま版ネウボラ構築事業



朝ごはん推進モデル事業

ひろしま版ネウボラ構築事業

事業費 1億円

妊娠・出産から子育て期まで、切れ目ないサポート体制である「ひろしま版ネウボラ」の全県展開に向けて、現在6市町で実施中のモデル事業の効果や課題を検証します。

➡ 詳細は4月号本編へ!

子供の未来応援事業

事業費 7,200万円

様々なリスクを抱える子供たちを多面的・継続的に把握し見守り支援する仕組みの検討・構築や、子供の能力と可能性を高めるために必要な生活習慣づくりとして、全ての子供が朝食を食べることができる環境の整備などに取り組みます。

学びのセーフティネット構築事業

事業費 1億8,600万円

全ての子供の能力と可能性を最大限高められるように、小学校低学年からの学習のつまづきの要因・背景を把握する新たな学力調査の先行実施や校内適応指導教室の整備など不登校等児童生徒対策の強化に取り組みます。

ゆとりの創出

第4次産業革命を好機とした生産性革命

AI/IoT等の新たなデジタル技術の集積と人材の育成を図るとともに、本県の強みであるものづくりのプロセス全体のデジタル化を推進します。



島しょ部傾斜地農業に向けたAI/IoT実証事業

地域産業IoT等活用推進事業

事業費 6億600万円

新たなデジタル技術を活用して、課題解決に向けた実証実験を県内外の民間企業等と共創して実施し、広島発の新たなソリューションの創出とデジタル人材の育成・集積を図ります。



「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業

事業費 10億7,200万円

産学官で連携した先進的な研究の実施や、県内大学と連携したデータサイエンス分野の人材育成などにより、ものづくりのプロセス全体のデジタル化を推進します。

地域活力の基盤づくり

中山間地域の地域力強化・都市圏の活力強化

都市と自然が近接している広島県の特徴を生かしながら、中山間地域の活性化や都市圏の活力強化に取り組みます。



ひろしま「ひと・夢」未来塾



福山駅前再生ビジョン

ひろしま里山・人材力加速化事業

事業費 3,000万円

これまで発掘・育成してきた中山間地域の地域づくりリーダーの活動が主体的・継続的に展開されるよう支援するとともに、新たな人材の育成・確保に取り組みます。

チャレンジ・里山ワーク拡大事業

事業費 3,400万円

中山間地域の地域資源を生かした、新しいワークスタイルの定着を図るため、関係市町と一体となってサテライトオフィスの誘致を促進します。

都市圏魅力創造事業

事業費 700万円

広島都市圏及び備後圏域が、多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域となるよう、エリアマネジメントの推進などに、広島市や福山市と連携して取り組みます。

暮らしを楽しむ機会の創出

スポーツを核とした地域づくり

県民の皆さんが気軽にスポーツを楽しめる機会をつくとともに、スポーツの持つ様々な力を活用して地域・経済の活性化を図ります。



FISE HIROSHIMA 2019



メキシコ体操選手団(地元ジュニア選手らによる出迎え)

スポーツを活用した地域活性化推進事業

事業費 1,900万円

スポーツコミッションの設置に向けた準備や、アーバンスポーツの普及や裾野の拡大、選手の育成・強化を担うアカデミーの誘致など、スポーツを通じた魅力ある地域づくりやスポーツの成長産業化に取り組みます。

メキシコ選手団等事前合宿受入推進事業

事業費 8,900万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、メキシコ合衆国等の選手団の事前合宿を県内各地で受け入れ、スポーツをはじめ、経済・文化等、幅広い分野での交流を行い、県全体の活性化につなげます。

➡ 詳細は4月号本編へ!

FISEワールドシリーズ広島2019開催支援事業

事業費 5,000万円

アーバンスポーツ世界大会の広島開催を契機として、本県におけるアーバンスポーツの振興、地元経済の活性化につなげます。

➡ 詳細は4月号本編へ!